

2023年10月3日
株式会社ハローズ
株式会社中電工

オンサイトPPAモデルによる再生可能エネルギー電力を ハローズ物流センターへ1.2MWメガソーラー導入

株式会社ハローズ（本社：広島県福山市 以下、ハローズ）は、四国の物流拠点として香川県坂出市に「坂出口ロジスティクスセンター」を2023年3月に新築し、同センターにおいて（※）オンサイトPPAモデルの仕組みを活用した再生可能エネルギー電力の導入を2024年1月から開始いたします。屋上に設置する太陽光パネルは、1.2MWのメガソーラー（大規模太陽光発電設備）となり、年間発電量は124万kWhを想定、CO2排出量を年間約712トン削減できる見込みです。

上記を合わせて、ハローズ各建物の屋上へ設置する太陽光パネルの合計設置量は10.56MWとなり、CO2排出量を年間約5,596トン削減できる見込みです。

今回ハローズへ導入するオンサイトPPAモデルは、株式会社中電工（本店：広島県広島市 以下、中電工）がPPA事業者となり、ハローズに太陽光発電システムを設置し、同設備で発電した電力をハローズが購入・活用するものです。

ハローズは、サステナビリティ推進の一つとして、再生可能エネルギー電力の導入によるCO2排出量の削減など、脱炭素化の取組みを推進しています。

また、中電工は、自社の脱炭素化とともに、オンサイトPPAモデルを含む自家消費型太陽光設備の提案など、お客さまの脱炭素化をサポートし、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

今後も、ハローズ・中電工は、再生可能エネルギーの活用によるCO2排出量の削減など、環境に配慮した事業活動を推進してまいります。



「ハローズ坂出口ロジスティクスセンター」屋根上太陽光パネルイメージ図

ハローズ オンサイトPPA設置概要 (2023年10月現在)

| 店 舗 | 太陽光パネル 設置量 | 発電量見込み (/年間) | CO2削減見込み (/年間) |
|---------------|---------------|-----------------|-------------------|
| 坂出ロジスティクスセンター | 1.2 MW | 124万 kwh | 712 t-CO2 |
| 4 2 施設 | 9.36 MW | 987万 kwh | 4,884 t-CO2 |
| 合 計 | 10.56 MW | 1,111万 kwh | 5,596 t-CO2 |

(※) オンサイトPPAモデルとは

PPAとは「Power Purchase Agreement(電力販売契約)モデル」の略で、オンサイトPPAモデルとは、PPA事業者が需要家の屋根等のスペースを借用し太陽光発電システムの設置と運用・保守を行い、発電した電力を需要家が購入・活用するものです。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ハローズ 開発部 部長 新谷 憲正

Tel 086-483-1682

株式会社 中電工 業務本部 総務部 広報担当課長 川崎 康司

Tel 082-291-9730